

## 【令和5年度取組み事項】

- 展示の磨き上げ（コンテンツの導入等）
- 情報発信の基盤構築（WEBサイトの開設）
- 館内施設等への周遊促進・インバウンドの来館を見据えた受入環境整備（屋外施設案内看板の整備・多言語化）

### 情報発信の基盤構築



#### ○「オンライン立山博物館」の開設

(<https://tatehaku.jp>)

- ・館の掲げるテーマや展示内容、利用案内、アクセス、イベント情報などといった基本的な館の情報をユーザーがストレス無く容易にたどり着けるようなWEBサイト
- ・来館前の事前情報収集や立山信仰などの文化・歴史を中心とした立山の魅力に触れることができるよう館の多彩な施設や収蔵資料、立山の文化・歴史を紹介
- ・立山博物館エリア内の各施設及び史跡等を案内するWEBガイドマップを掲載し、同エリアの文化・歴史の魅力を発信するほか、おすすめの周遊コースを紹介
- ・3Dデータ化した国指定重要文化財資料や高精細スキャンした立山曼荼羅をWEBサイト上で公開



トップページ



WEBガイドマップ

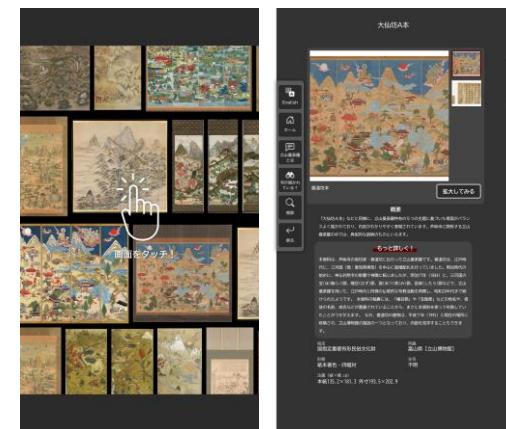
### 展示の磨き上げ

#### ○高精細「デジタル立山曼荼羅」展示の導入（3/22供用開始）

- ・バリエーション多彩な立山曼荼羅を高精細スキャンによってデジタル化し、タッチパネルモニターにて展示  
⇒高精細スキャンした立山曼荼羅を新規開設の「オンライン立山博物館」で公開。WEBサイト上でも閲覧することが可能  
(<https://tatehaku.jp/facility/kyokai/collection/mandara/>)
- ・タッチパネルモニターにより高精細の立山曼荼羅を拡大して細部まで観察することが可能。各曼荼羅や曼荼羅に描かれる場面などの解説とあわせて、立山信仰の世界観が描かれた立山曼荼羅の魅力をも十分に味わえるコンテンツ



立山曼荼羅 吉祥坊本



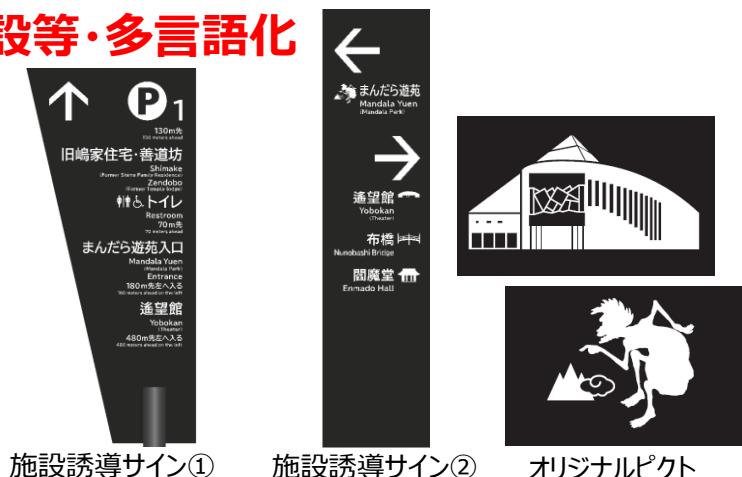
モニター画面



### 館内施設等への周遊促進・インバウンド受入環境整備

#### ○屋外施設案内看板の増設等・多言語化

- ・敷地内の点在する施設や史跡をわかりやすく案内するため、施設のオリジナルピクトの導入などを行い、屋外施設案内看板の増設・整備を実施
- ・インバウンド来館を見据えた受入環境整備のため多言語化（英語併記）を実施



施設誘導サイン①

施設誘導サイン②

オリジナルピクト

#### ○国指定重要文化財資料の3Dデータ化

- ・立山博物館が収蔵する国指定重要文化財資料を3Dデータ化  
⇒新規開設の「オンライン立山博物館」で公開。WEBサイト上でも同館収蔵の国指定重要文化財資料をつぶさに閲覧することが可能  
(<https://tatehaku.jp/facility/kyokai/collection/bunkazai/>)
- ・展示室でタッチパネルモニターにより実資料に添えて表示し、詳細な解説に活用（R6年度以降実施予定）



どうしゃくじょうとうつけたりつけん  
銅錫杖頭附鉄剣  
(劔岳発見)



そうりゅうかざり  
銅錫杖頭く（双竜飾）  
／富山県大日岳発見



どうぞうたいしゃくてんりゅうぞう  
銅造帝釈天立像